

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科目名	精神看護学実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (2) 時間(単位)
対象学年	3年次		学期及び曜時限	後期	教室名	各施設
担当教員	濱崎 美文 他	実務経験とその関連資格	総合病院で精神科病棟に看護師として勤務			
《授業科目における学習内容》						
精神に障がいのある対象の特徴を理解し、その関わりの意味や方法などを学ぶとともに精神看護の基礎的能力を養う。						
《成績評価の方法と基準》						
1) 総出席時間数が満たされている場合、評価を受けることができる。 2) 実習評価表で目標の達成状況を実習内容、態度、実習記録で総合的に評価する。 3) 地域での実習の評価は、実習態度と提出物などからの評価を行い、病院内実習との合計で評価を行う。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 精神看護学① 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 精神看護学② 医学書院 系統看護学講座 学生のための精神看護学 医学書院						
《授業外における学習方法》						
実習前の事前課題、看護過程に取り組む						
《履修に当たっての留意点》						
実習要綱を熟読し実習準備を十分にしておいて下さい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
地域実習 1 日目	授業を通じての到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>1日目の実習計画を発表し、指導を受けることができる。</li> <li>コミュニケーションはできるだけ多くの利用者と積極的に行うことができる。</li> <li>施設の日課にそって日常生活援助、活動の見学・参加することができる。</li> </ul>		病院資料	事前課題、看護過程に取り組む	
	各コマにおける授業予定	施設オリエンテーション、施設見学 利用者とのコミュニケーション 日常生活援助、活動への参加など カンファレンス				
地域実習 2 日目	授業を通じての到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習目標・行動計画を発表し、指導を受けることができる。</li> <li>・日常生活援助は見学または指導者と共に行うことができる。</li> </ul>		各テキスト	事前課題、看護過程に取り組む	
	各コマにおける授業予定	利用者の送迎、コミュニケーション、活動への参加など テーマカンファレンス 「精神障がい者支援での多職種の役割と社会資源の活用、看護師の役割」など				
病院実習 1 日目	授業を通じての到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神科病棟の特徴と留意点をおさえ、オリエンテーションを受けることができる。</li> <li>・受け持ち患者に、学生が受け持つことの説明と同意を得ることができる。</li> </ul>		病院資料	事前課題、看護過程に取り組む	
	各コマにおける授業予定	1) 病棟オリエンテーション 2) 受け持ち患者紹介、挨拶、受け持ち患者へ説明と同意3) 看護師に同行しての援助の見学4) 患者・カルテ・援助の見学を通して情報収集5) 情報整理(情報の整理と解釈・分析)6) 受け持ち患者とのコミュニケーション 7) 実習の目的の明確化(実習記録⑧の提出)8) カンファレンス				
257 病院実習 7 日目	授業を通じての到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動計画に基づき、援助を見学または実施することができる。</li> <li>・中間評価では実習評価表に基づき実習前半を振り返り、課題を明確にし、後半の実習に臨むことができる。</li> </ul>		各テキスト	事前課題、看護過程に取り組む	
	各コマにおける授業予定	1) 行動計画発表2) 看護師に同行して援助の見学3) 受け持ち患者の自立度に応じた看護援助方法についての情報収集と参加4) プロセスレコード、アセスメント、関連図の提出 5) デイケア実習 6) 中間評価 (実習5日目)				
病院実習 9 日目	授業を通じての到達目標	立案した関連図について発表し、患者に必要な看護援助についての検討することができる。・関連図発表後の行動計画は関連図発表で理解を深めた受け持ち患者の看護問題をふまえ、援助を見学または実施することができる。		各テキスト	事前課題、看護過程に取り組む	
	各コマにおける授業予定	1) 行動計画発表2) 看護師に同行して援助の見学 3) 受け持ち患者の自立度に応じた看護援助方法についての情報収集と参加 4) 精神医療チームの連携、社会復帰システムについて 4) 関連図発表カンファレンス				

